

平成30年度社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会事業報告

I 総括

社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会（以下「本会」という。）の基本理念である「ともに支えあうまちづくりを」の実現のため、社会福祉事業と収益事業を合わせて37の諸事業を実施しました。

事務局職員人件費を除く事業費は、1億4,320万円余で、前年度に比べ保健福祉プラザへの移転費用の減などにより、250万円余の減となりました。

また、平成30年度は「2点の重点課題」を掲げましたが、その活動内容は次のとおりです。

II 重点課題報告

1 住民が主体的に活動するための環境整備

本会では、平成28年度から綾瀬市より受託し、取り組んでいる「生活支援体制整備事業」における第二層協議体の綾瀬市「ささえあい井戸端会議」の体制作りに取り組み、平成30年度は新たに3地区において「ささえあい井戸端会議」が発足しました。このことにより、14地区中10地区において「ささえあい井戸端会議」が発足し、活動を進めているなど地域の助け合いの仕組み作りの充実を図りました。

2 みんなでつくる次代を担う地域福祉活動計画の策定

平成30年度は、平成26年度から取り組んでおります「第三次綾瀬市地域福祉活動計画」の最終年度となり、「第三次綾瀬市地域福祉活動計画」を総括するとともに、新たな指針となる「第四次綾瀬市地域福祉活動計画」の策定に取り組みました。

ほぼ、2年間に渡る策定作業では、地域福祉に携わる多くの関係機関にヒアリング調査を行うとともに、地域福祉活動計画推進委員会において議論を重ね、平成31年4月から今後5年間の「第四次綾瀬市地域福祉活動計画」を策定いたしました。

「第四次綾瀬市地域福祉活動計画」では、「ともに支えあうまちづくりを」基本理念に据え、「住民の主体的参加と協働による地域福祉活動の推進」などの3つを基本目標としています。

Ⅲ 事業概要報告

I 社会福祉事業

決算額（前年度決算額）

1 法人運営事業

(1) 法人運営管理

4,937 千円（8,617 千円）



ア 三役会（4回開催）

三役（会長、副会長及び常務理事）が理事会及び評議員会に関する事、また今後の事業執行に必要な事項等について協議、検討を行い、本会理事機能の円滑化を図った。

イ 理事会（4回開催）

第1回（平成30年6月12日）

- ・専決処分の報告
- ・平成29年度事業報告
- ・平成29年度資金収支決算
- ・評議員候補者の推薦について
- ・評議員会の招集について

第2回（平成30年8月8日）

- ・副会長の選任について
- ・平成30年度顕彰者（表彰、感謝）の決定について

第3回（平成30年12月10日）

- ・年末たすけあい地域活動支援センター等助成費交付金支給基準の決定について

第4回（平成31年3月14日）

- ・資金収支補正予算
- ・平成31年度事業計画
- ・平成31年度資金収支予算
- ・第四次綾瀬市地域福祉活動計画の策定



- ・評議員会の招集について

ウ 評議員会（２回開催）

第１回（平成３０年６月２７日）

- ・専決処分の報告
- ・平成２９年度事業報告
- ・平成２９年度資金収支決算
- ・理事の選任について

第２回（平成３１年３月２７日）

- ・資金収支補正予算
- ・平成３１年度事業計画
- ・平成３１年度資金収支予算
- ・第四次綾瀬市地域福祉活動計画の策定



エ 監事会（２回開催）

第１回（平成３０年６月５日）

- ・平成２９年度事業報告
- ・平成２９年度資金収支決算

第２回（平成３０年１１月２０日）

- ・平成３０年度上半期事業報告
- ・平成３０年度資金収支上半期執行状況



オ 評議員選任・解任委員会（１回開催）

第１回（平成３０年６月２１日）

- ・評議員の選任について



カ 特別賛助会員の増強

特別賛助会員増強のため郵便方式のほか、会長、副会長及び職員が市内事業所を訪問し、加入者の増強を図った

- ・金額 １，２０５，０００円（１，１３７，２３５円）
- ・件数 １５５件（１５３件）

キ 事務局通信の発行

社協事業の紹介、職員のプライベートな話題など、親しみを持ってもらえる記事を掲載した内部広報紙を発行し、役員、評議員、地区社協会長及びささえあい井戸端会議座長へ情報発信を図った。

- ・発行月 4月、7月、10月、平成31年1月 各60部発行

(2) 職員管理

86,742 千円 (67,453 千円)



地区社協、行政、福祉団体、福祉施設等の関係機関と連携、協働を図り38の諸事業等を展開するなど、ともに支えあうまちづくりを推進するための活動を図った。

2 調査・研究事業

(1) 計画推進委員会

309 千円 (193 千円)



第三次地域福祉活動計画の進行管理や、第四次域福祉活動計画（平成31年4月から今後5年間）の策定作業を行った。

また、第四次地域福祉活動計画策定のヒアリング調査や、計画の周知を図った。

第1回（平成30年6月18日）

- ・委嘱状交付
- ・綾瀬市地域福祉活動計画について説明（新任委員向け）
- ・第四次地域福祉活動計画策定について

第2回（平成30年8月21日）

- ・第四次綾瀬市地域福祉活動計画策定について
- ・ヒアリングの実施状況について
- ・小地域福祉活動計画の策定作業について
- ・「見える綾瀬市社協をつくる」計画について
- ・アンケート内容の協議について



第3回（平成30年10月25日）

- ・第三次綾瀬市地域福祉活動計画上半期進捗状況について
- ・「見える綾瀬市社協をつくる」6つの目標の上半期進捗状況について

第4回（平成30年11月22日）

- ・第四次綾瀬市地域福祉活動計画策定について
- ・見える綾瀬市社協をつくる6つの目標について

第5回（平成30年12月20日）

- ・第四次綾瀬市地域福祉活動計画策定について
- ・気軽にふれあえ魅力ある綾瀬市社協実現のための目標設定について

第6回（平成31年2月25日）

- ・第三次綾瀬市地域福祉活動計画下半期進捗状況について
- ・「見える綾瀬市社協をつくる」6つの目標下半期進捗状況について

(2) 苦情解決委員会

0 千円 (0 千円)



市民、利用者からの苦情の適切な解決のため苦情解決調整委員会を設置し、福祉サービスの質の向上及び運営の信頼性を図った。



(3) 福祉人材確保事業

46 千円 (30 千円)



ア 福祉の仕事知ってもらおうプロジェクト

福祉の仕事に興味、関心を持ってもらうため、市内福祉施設職員の協力のもと、学校向けにプレゼンテーションを行った。

綾瀬西高校（平成30年6月19日）

- ・参加者 100名

町田福祉専門学校（平成30年10月1日）

- ・参加者 30名

関東学院大学（平成30年11月21日）

- ・参加者 100名



イ あやせ Tomorrow プロジェクト

市内の若い世代を地域に取り込むため、防犯活動と健康づくりを兼ねた「夜回りランニング&ウォーキング」を毎月実施した。

また、9月には「ハロウィンイベント」を開催し、プロジェクトの周知を図った

- ・実施回数 11回（10回）
- ・延べ参加者数 254名



3 広報・啓発事業

(1) 広報紙等発行事業

3,015 千円 (2,912 千円)



広報紙「社協あやせ」を発行し、市民への啓発の促進と福祉情報の周知を図った。

- ・ 配布方法 ポスティングによる配布
- ・ 配布先 市内全世帯、事業所、市内公共施設、構成会員、特別賛助会員
- ・ 発行月 4月、6月、10月、平成31年1月
各36,000部発行



(2) ホームページ公開事業 ([http:// ayase-shakyo.or.jp/](http://ayase-shakyo.or.jp/))

本会の情報をはじめ地区社協の広報など幅広く情報を発信した。

また、SNS を利用し、リアルタイムな情報発信を図った。

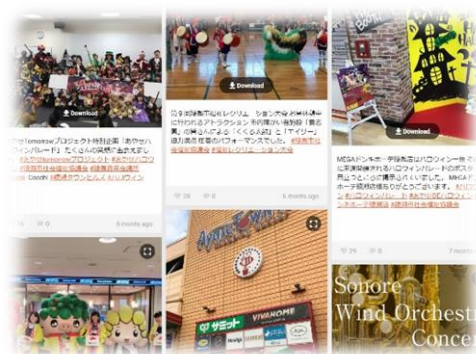
ホームページ



フェイスブック



インスタグラム



ツイッター



(3) 福祉ふれあいまつり

605 千円 (567 千円)



福祉施設及び団体、地区社協、ボランティアの協力のもと、地域福祉や障がい福祉に今まで接点のなかった、または関わりの少なかった市民に向けて、福祉への理解と参加者及び関連団体の交流を図った。

また、今年度は、公民館講座“だがしや楽校”と合同開催したことにより、参加した子供や保護者など、福祉活動について身近に感じてもらう場となった。



- ・開催日 平成30年10月21日
- ・会場 綾瀬市オーエンス文化会館及びその周辺
- ・来場者数 約2,000名(約1,000名)
- ・寄託金件数 1件(0件)
- ・協力団体数 61団体(64団体)
- ・協力企業数 1社(1社)

※内訳 ブース 31団体(33団体)
 展示 13団体(15団体)
 ステージ 8団体(7団体)
 運営協力 9団体(9団体)

4 地域福祉推進事業

(1) 社会福祉大会(社会福祉表彰式)

259 千円 (252 千円)



永年にわたって地域福祉推進のため活動してきた方々や多額の芳志をされた方々を対象に表彰式典を開催し、労をねぎらった。

- ・開催日 平成30年9月23日
- ・会場 綾瀬市オーエンス文化会館
- ・参加者 170名(140名)
- ・被表彰 表彰 34件(12件)
 感謝 3件(7件)
 寄付感謝 10件(7件)
- ・地区社協活動実践発表大会(発表地区：上深谷地区、蓼川地区)



(2) 福祉レクリエーション大会

262 千円 (211 千円)



市内の福祉団体とその家族及び福祉施設の入所者が集い、スポーツを通じて参加者相互の交流を行い、心身の健康保持を図った。

- ・開催日 平成30年11月10日
- ・参加者数 140名 (113名)
- ・学生ボランティア等 68名 (97名)



(3) 地区社協推進事業

5,405 千円 (5,782 千円)



地区社協の活動費を助成するとともに、各地区へ職員を派遣し、支援を図った。

ア 設置地区助成金

- ・助成数 14地区 (14地区)
- ・助成額 20万円／1地区 (20万円／1地区)

イ ふれあいいきいきサロン事業

お互いがつながりを持てる場を住民主体で作れるよう支援するため助成し、サロン事業の充実、促進を図った。

- ・助成数 14地区 (14地区)
- ・助成額 2万円／1地区 (2万円／1地区)

ウ 地区ボランティアセンター設置事業

- ・助成数 3地区 (3地区)
- ・助成額 5万円／1地区 (5万円／1地区)

エ 地区社協強化推進事業

活動拠点（寺尾南地区社協ボランティアセンターサロンなごみ、深谷大上ふれあいの家、落合ふれあいの家）の運営や交流事業の活動費を支援し、充実と促進を図った。

- ・助成数 10地区 (12地区)
- ・助成額 10万円／1地区
(10万円／1地区)

※中村地区社協45,000円



オ 地区社会福祉協議会連絡協議会（地区社協連協）

定期総会（平成30年6月8日）

- ・平成29年度事業報告及び決算報告
- ・役員の改選
- ・平成30年度事業計画及び予算

定例会 3の倍数月 第2金曜日 13時30分から

第1回（平成30年6月8日）

- ・地域避難行動要支援者登録制度チラシの一部修正について
- ・介護予防サポーター養成講座の実施について
- ・平成30年度地区別男性料理教室の実施について
- ・平成30年度地区社協連協研修会について
- ・平成30年度地区社協交流会（案）について
- ・平成30年度綾瀬市社協の事業計画及び予算について
- ・避難行動要支援者登録制度とあんしん袋配布事業について
- ・生活応援事業について

第2回（平成30年9月14日）

- ・平成30年度ニュースポーツ教室のお知らせについて
- ・平成30年度綾瀬市福祉団体育成事業の概要について
- ・綾瀬市地域福祉計画・第四次地域福祉活動計画策定に向けたヒアリング調査実施について
- ・平成30年度地区社協連協研修会について
- ・平成30年度地区社協活動功労者表彰について
- ・平成30年度地区社協交流会について

第3回（平成30年12月14日）

- ・平成31年度健康講座について
- ・障害があっても障害がなくても共に生きる綾瀬市を創る協議会権利擁護部会主催講座について
- ・平成30年度綾瀬市災害ボランティアセンター設置運営訓練について
- ・平成30年度地区社協対象事業の予定について
- ・平成31年度災害時あんしん袋配布事業の予定について

第4回（平成31年3月8日）

- ・平成31年度出張健康サロンについて

- ・地域なんでも相談事業への協力について
- ・平成31年度地区社協への依頼事項等について
- ・平成31年度事業計画（案）及び予算（案）について
- ・平成31年度各地区社協の定期総会日程について

研修会（平成30年12月4日）

- ・視察先 沼津市社会福祉協議会
- ・参加者 13名

交流会（平成30年10月13日）＊新規事業

- ・会場 城山公園バーベキュー場
- ・参加者 27名

地区社協功労者表彰式（平成30年12月14日）

- ・被表彰者 34名（15名）



カ 地域福祉リーダー研修

- ・開催日 平成31年2月13日
- ・参加者数 28名（26名）



キ 地区社協合同研修会

- ・開催日 平成30年6月15日
- ・参加者数 16名（30名）

ク 地区社協活動実践発表大会

- ・開催日 平成30年9月23日
- ・会場 綾瀬市オーエンス文化会館
- ・参加者数 170名（140名）
- ・発表地区 上深谷、蓼川



ケ 地区社協サロン担当者意見交換会

- ・開催日 平成31年3月18日
- ・会場 綾瀬市保健福祉プラザ
- ・参加者数 25名



(4) 生活支援体制整備事業

1,752千円（352千円） 

各地区に職員を派遣し支援するとともに、さわやか福祉財団の協力を得て、日常生活圏域での、ささえあい井戸端会議発足を図った。

ア ささえあい井戸端会議（第2層協議体）の新規発足

- ・ささえあい井戸端会議 早川 平成30年 8月17日
- ・ささえあい井戸端会議 蓼川 平成30年12月20日
- ・ささえあい井戸端会議 上深谷 平成31年 3月16日

イ ささえあい井戸端会議（第2層協議体）の開催 全10地区

- ・ささえあい井戸端会議 寺尾南 毎月第3火曜日 9回
- ・ささえあい井戸端会議 上土棚 毎月第2月曜日 10回
- ・ささえあい井戸端会議 吉岡 毎月第2木曜日 11回
- ・ささえあい井戸端会議 中村 毎月第2月曜日 10回
- ・ささえあい井戸端会議 落合 毎月第2日曜日 9回
- ・ささえあい井戸端会議 小園 毎月第3水曜日 10回
- ・ささえあい井戸端会議 大上 毎月第3木曜日 11回
- ・ささえあい井戸端会議 早川 毎月第3金曜日 8回
- ・ささえあい井戸端会議 蓼川 毎月第2金曜日 4回
- ・ささえあい井戸端会議 上深谷 毎月第3土曜日 1回

ウ ささえあい井戸端会議の資質向上

ささえあい井戸端会議意見交換会（平成30年7月31日）

- ・参加者 36名

ささえあい井戸端会議視察研修会（平成31年2月19日）

- ・視察先 千葉県柏市社会福祉協議会
- ・参加者 39名

エ ささえあい井戸端会議（第2層協議体）の全地域設置に向けた取り組み
生活支援体制整備事業説明会

- ・平成30年 6月 2日 綾西地区
- ・平成30年 6月 9日 早川地区
- ・平成30年 6月23日 蓼川地区
- ・平成30年 9月19日 寺尾北地区

模擬井戸端会議体験ワークショップ

- ・平成30年 7月13日 蓼川地区
- ・平成30年 7月18日 早川地区
- ・平成30年 7月19日 寺尾綾北地区
- ・平成30年 8月12日 綾西地区
- ・平成30年 9月 8日 寺尾天台地区
- ・平成30年11月 4日 寺尾北地区
- ・平成31年 1月25日 上深谷地区
- ・平成31年 2月20日 寺尾北地区（2回目）

ささえあい井戸端会議合同研修会（平成30年11月28日）

- ・参加者 27名

オ ささえあい井戸端会議の広報啓発活動

支えあいニュース5回発行（ホームページ掲載）

カ 第1層協議体運営会議

- ・開催日 平成31年3月5日
- ・第2層生活支援コーディネーターの設置について
- ・平成30年度地域支援事業の状況について
- ・参加者 22名



キ その他

あやせ介護支援専門員協会の協力のもと、
café 結（認知症カフェ）を6回実施した。

- ・会場 綾瀬市保健福祉プラザ
- ・延べ参加者 100名



5 助成事業

- (1) 地域福祉事業交付金 781 千円 (797 千円) ⇩

各自治会の協力により募集した、会費（住民会費）の一部を還元し、自治会で実施する地域福祉活動の支援を図った。

- ・ 交付数 14 自治会（14 自治会）

- (2) 福祉当事者団体等事業助成金 1,798 千円 (1,850 千円) ⇩

ア 福祉当事者団体助成金

高齢者や障がい者等の事業費の助成を行い、活動の充実、促進を図った。

- ・ 交付数 7 団体（6 団体）

イ 小・中学校福祉推進事業

小、中学校へ福祉教育のための助成を行い、福祉教育の充実、促進を図った。

- ・ 交付数 14 校（14 校）

- (3) 福祉ボランティアグループ事業助成金 840 千円 (1,170 千円) ⇩

ボランティアグループへの事業費助成を行い、活動の支援を図った。

- ・ 交付数 8 グループ（9 グループ）

6 援護事業

- (1) 法外緊急援護事業 30 千円 (30 千円) ⇨

緊急に交通費等を必要とする行路人等へ、資金給付を行うとともに、罹災世帯に対し、緊急的な資金の支援を行った。

- ・ 給付件数 1 件（1 件）
- ・ 緊急的支援件数 1 件（1 件）

- (2) 交通遺児激励事業 150 千円 (0 千円) ⇩

交通事故等で遺児（20 歳未満）となった方に、見舞金及び激励金の支給を行った。

- ・ 支給件数 2 件（0 件）

7 総合相談事業

(1) 総合相談事業

48 千円 (48 千円)



ア 窓口相談 (随時対応)

職員が窓口や電話で、様々な悩みごと、心配ごとの解消を図った。

- ・相談件数 235 件 (299 件)

イ 地域なんでも相談 (毎月 1 回 ※各地区共通)

職員が地域に出張し (深谷大上ふれあいの家、落合ふれあいの家、寺尾南地区ボランティアセンターサロンなごみ) 悩みごと、心配ごとの解消を図った。

- ・相談件数 4 件 (3 件)

ウ 福祉当事者相談 (随時対応)

当事者や介護経験者が自身の経験と知識をもとに、悩みごと、心配ごとの解消を図った。

- ・相談件数 15 件 (15 件)

(2) 生活応援事業

43 千円 (83 千円)



ア 生活応援事業

生活や食べるものに困窮する市民、世帯を対象に、総合的な相談と緊急性の高い世帯に対して、光熱水費の支払い (現物支給) や、フードバンクかながわの食品提供協力を得て食料提供を行い、生活再建の支援を図った。

また、事業の財源とするため、社会福祉法人から協賛金の募集を行った。

- ・支援件数 4 件 (5 件)
- ・提供件数 94 件
- ・協賛数 6 件 (6 件)
- ・協賛金額 280,000 円 (200,000 円)

イ 生活応援事業運営委員会

基金運用等について、適切な事業運営を図るため、委員会を開催した。

第 1 回 (平成 30 年 6 月 13 日)

第 2 回 (平成 30 年 11 月 26 日)

- ・生活応援事業支援実績及び基金、予算について
- ・支援時課題について

8 ボランティア振興事業

(1) ボランティアセンター運営事業

2,375 千円 (2,387 千円)



相談員を配置し、相談、派遣、さろんの実施、講座開催等の需給調整を行った。

- ・個人ボランティア 157名 (149名)
- ・団体ボランティア 53団体 (52団体)
- ・相談件数 231件 (210件)

ア ボランティア講座

活動に必要な知識と理解を深める講座を開催し、人材養成を図った。

ボランティア入門講座

- ・開催回数 2回 (2回)
- ・参加者 26名 (12名)

登録ボランティア研修会 (平成30年12月16日)

- ・参加者 41名 (35名)

イ ボランティアさろん (毎月1回開催)

誰もが簡単に参加できる活動の提供や交流と情報交換の場として開催した。

- ・参加者 177名



ウ 綾瀬市ボランティア連絡協議会

ボランティア相互の連携を図るとともに、活動の充実及び普及を図った。

定期総会 (平成30年5月20日)

- ・平成29年度事業報告及び決算報告
- ・平成30年事業計画及び予算

定例会 (3の倍数月 第2金曜日 19時00分から)

第1回 (平成30年4月13日)

- ・定期総会について
- ・春の交流会について

第2回（平成30年7月13日）

- ・ボランティア入門講座
- ・バス研修について
- ・春の交流会の反省について

第3回（平成30年10月12日）

- ・新年会について
- ・バス研修について

第4回（平成31年1月12日）

- ・クリスマス会について
- ・定期総会について
- ・春の交流会について

交流会（平成30年6月2日、平成31年1月27日）

- ・開催回数 2回
- ・場所 綾瀬市オーエンス文化会館
- ・延べ参加者 368人

研修会（平成31年2月8日）

- ・視察先 御殿場市 社会福祉法人富岳会富岳の園
- ・参加者 20名

エ 青少年体験学習

中、高校生等を対象にボランティア活動の場を提供し、福祉への理解促進を図った。

- ・参加者数 中学生 16名（24名） 高校生等 98名（70名）
- ・参加校数 中学校 5校（4校） 高校等 4校（4校）

オ 行事用機材貸出事業

福祉団体、市民活動団体等へ行事用機材の貸出しを行い、活動支援を図った。

- ・ポップコーン機 7件（5件）
- ・ポン菓子機 1件（1件）
- ・かき氷機 6件（7件）
- ・綿菓子機 8件（8件）

カ 福祉教室

小、中、高校等の依頼をもとに授業で福祉教室を開催した。

また、今年度は相鉄企業より依頼があり、職員向けの高齢者疑似体験を行った。

- ・手話体験 24件（13件）
- ・車いす体験 9件（10件）
- ・点字体験 19件（18件）
- ・誘導体験 2件（1件）
- ・高齢者疑似体験 20件（12件）
- ・ボランティア講話 1件（1件）
- ・視覚障がい者講話 2件（2件）
- ・肢体不自由児者講話 3件（3件）
- ・サウンドテーブルテニス体験 10件（10件）



(2) 災害ボランティアセンター活動事業

878 千円（2,159 千円）



ア 綾瀬市災害ボランティアセンター設置運営訓練

あやせ災害ボランティアネットワークと連携し、災害ボランティアセンターの設置及び寺尾南地区社協の協力を得て、サテライト災害ボランティアセンターの設置訓練も実施した。

- ・実施日 平成31年2月24日
- ・参加者数 65名（50名）



イ 綾瀬発・釜石応援プロジェクト

東日本大震災被災地である岩手県釜石市への支援を行い、支援回数は通算19回、延べ参加者数は572名（スタッフを含む）となった。

平成30年度は、第6回釜石&綾瀬夏の交流祭り・釜石の復興状況の見学を行い、復興支援と交流を図った。

実施日（平成30年7月27日～29日）

- ・参加者 22名（24名）



ウ 西日本豪雨災害被災地支援事業

株式会社相鉄バス綾瀬営業所のバス運行力いただき、西日本豪雨被災地の岡山県倉敷市真備町において、家屋の泥出し、家財家具の移動等を行った。

実施日（平成30年8月31日～9月1日）

・参加者 22名



9 共同募金配分金事業

(1) 共同募金配分金事業

101 千円（114 千円）



年末たすけあい募金の一部を年末たすけあい地域活動支援センター等助成費交付金として、レオモナ（就労継続支援B型）、ファミリー（地域活動支援センター）へ配分した。街頭募金活動では、海老名市、座間市、綾瀬市による3市協働を初めて行い、募金活動の啓発を図った。

- ・交付数 2ヶ所（2ヶ所）
- ・交付額 5万円／1ヶ所
（5万円／1ヶ所）



(2) 災害時あんしん袋配布事業

644 千円（449 千円）



65歳以上の高齢者のみの世帯で「地域避難行動要支援登録制度」に登録をしている方を中心に災害時あんしん袋（水、キャラメル、笛、懐中電灯）を配布し、要支援者との顔つなぎを図った。

- ・協賛 サントリービバレッジソリューション株式会社（水の無償提供）
- ・協力 地区社協
- ・配布数 1,371個（1,286個）

(3) その他

6,752 千円（5,403 千円）



広報紙発行事業、ボランティア活動助成、福祉団体助成等に配分金を充当した。

10 あんしんセンター事業

(1) 日常生活自立支援事業

6,451 千円 (6,601 千円)



高齢者や障がい者等が地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助や金銭管理、公共料金等の支払を代行し、日常生活の支援を図った。

ア 契約締結者数

- ・利用援助、管理サービス 42名 (42名)
- ・書類等預かりサービス 12名 (12名)
- ・上記両方契約 11名 (11名)

イ 相談件数

- ・件数 7件 (10件)
- ・契約者相談 1,900件 (1,706件)

ウ 局内カンファレンス

新規相談者の契約締結能力や支援の必要性などを総合的に判断し、支援方針を決定した。また、契約者の判断能力の有無、支援の適否や契約更新の可否について検討を行った。

- ・開催回数 6回

(2) 法人後見事業

4,627 千円 (5,132 千円)



家庭裁判所の審判により、認知症高齢者や知的障がい者の後見人等として身上監護及び財産管理を行い、日常生活の支援を図った。

ア 受任件数

- ・後見 11件 (12件)
- ・保佐 3件 (2件)
- ・補助 1件 (1件)

イ 法人後見審査会の開催

- ・開催回数 2回 (1回)
- ・平成29年度事業報告について
- ・後見候補者の審査、後見ケース検討

(3) 市民後見事業

1,172 千円 (1,434 千円)



ア 市民後見サポーター

市民後見人養成講座修了者が市民後見サポーターとして活動。4 名が後見活動（法人後見受任ケース）を行った。

また、養成講座修了者 3 名が新たにサポーターとして登録した。

1 1 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

2,133 千円 (2,209 千円)



生活福祉資金（福祉資金、教育支援資金、総合支援資金）等の貸付の相談や借受者（世帯）への償還指導を実施し、低所得者世帯への生活の安定を図った。

ア 福祉資金・教育支援資金

・相談件数 69 件 (76 件)

・貸付件数 5 件 (0 件)

イ 緊急小口資金

・相談件数 27 件 (62 件)

・貸付件数 1 件 (2 件)

ウ 総合支援資金

・相談件数 5 件 (3 件)

エ 不動産担保型生活資金

・相談件数 9 件 (3 件)

(2) 簡易小口生活資金貸付事業

468 千円 (546 千円)



不測の事態により生活が困難になった世帯に資金を貸付し、生活の安定を図った。

・貸付件数 10 件 (16 件)

・償還件数 10 件 (16 件)

1 2 基金運営事業

(1) 福祉基金運営事業

976 千円 (1,173 千円)



- ・ 寄託金額 971,198 円
(1,143,949 円)
- ・ 寄託金件数 39 件 (37 件)
- ・ 寄託品件数 16 件 (16 件)



(2) 各種基金運営事業

7,500 千円 (5,320 千円)



各種基金を管理し、活動財源の確保、財政の長期にわたる健全な運営を図った。

1 3 サービスセンター事業

(1) サービスセンター事業

1,739 千円 (859 千円)



コミュニティケアワーカーを配置し、相談、助言等を行った。また、男性を対象に簡単でバランスのとれた調理方法を学習するための講座を開催した。

- ・ 男性料理教室 10 名／全 1 回 (15 名／全 1 回)
- ・ 地区別男性料理教室 28 名／全 2 回



(2) 住民参加型生活支援事業

896 千円 (888 千円)



高齢者、障がい者等に家事援助、身体介護など住民参加型のホームヘルパーを派遣し、支援を図った。

ア 登録者数

- ・ 援助会員 23 名 (11 名)
- ・ 利用会員 22 名 (22 名)

イ 援助回数

- ・ 616 回 (616 回)

(3) 住民参加型移動支援事業

128 千円 (69 千円) 

市民の参加と協力により、移動制約者（高齢者、身体障がい者等）のために自家用車などを利用し、病院等への送迎の支援を図った。

ア 登録者数

- ・ 援助会員 11 名 (12 名)
- ・ 利用会員 45 名 (46 名)

イ 運行回数

- ・ 612 回 (704 回)



(4) 移送サービス受託事業

7,203 千円 (3,801 千円) 

車いす等を利用しなければ歩行が著しく困難な方々へ、リフト車を 2 台運行し、通院等の支援を図った。

- ・ 延べ利用者数 320 名 (324 名)



(5) 車いす貸出事業

病気やケガ等で、歩行することが一時的に困難になった方などを対象に 3 ヶ月を限度に車いすを貸出し、生活の支援を図った。

- ・ 件数 111 件 (128 件)



1 4 居宅介護支援事業

居宅介護支援事業

16,089 千円 (15,769 千円) 

介護保険の要介護認定者等に対し、本人の選択に基づいた「居宅サービス計画」（ケアプラン）を作成し、利用者や家族へ支援を図った。

- ・ 延べ利用者数 1,364 名 (1,394 名)

1 5 訪問介護事業

- (1) 訪問介護事業 32,697 千円 (32,856 千円) 

介護保険の要介護認定者で、ホームヘルパーを必要とする方に対し、身体介護、生活援助、相談、助言など高齢者の支援を図った。

・延べ利用者数 746 名 (762 名)

- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業

介護保険の要支援認定者で、ホームヘルパーを必要とする方に対し、予防身体介護、生活援助、相談、助言など高齢者の支援を図った。

・延べ利用者数 420 名 (367 名)

1 6 障害者介護支援事業

- (1) 障害者介護支援事業 6,666 千円 (6,625 千円) 

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児童でホームヘルパーを必要とする方に対し、身体介護、家事援助、通院介助、相談、助言など自立の支援を図った。

・延べ利用者数 355 名 (359 名)

- (2) 計画相談事業

障がいのある人が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう相談支援を図った。

・利用者数 27 名 (27 名)

Ⅱ 収益事業

決算額（前年度決算額）

1 売店事業

売店事業

市役所内売店等を受託経営し、市役所職員の福利厚生や来庁者への利便を図るとともに、収益金を福祉事業に活用するため自主財源の確保を図った。

29,228 千円（31,350 千円）



◇会費収入状況

会員（会費）募集

本会が行う民間福祉活動への理解及び事業、活動のための自主財源確保を目的として実施し、多くの市民等の賛助をいただいた。

会費種別	金額
住民会費	7, 4 1 9, 2 2 0 円（7, 8 1 7, 3 6 0 円）
構成会費	1 1 8, 0 0 0 円（ 1 1 6, 0 0 0 円）
特別賛助会費（事業所）	1, 2 0 5, 0 0 0 円（1, 1 3 7, 2 3 5 円）
特別賛助会費（個人）	1 0, 0 0 0 円（ 2 1, 0 0 0 円）
計	8, 7 5 2, 2 2 0 円（9, 0 9 1, 5 9 5 円）

◇事務局職員体制

（平成31年3月31日現在）

事業区分名	配置人員
職員管理	常勤（10名）
ボランティアセンター運営事業	非常勤（2名）
日常生活自立支援事業	嘱託（1名） 非常勤（4名）
法人後見事業	嘱託（1名） 非常勤（兼務4名）
市民後見事業	嘱託（兼務1名） 非常勤（兼務4名）
生活福祉資金貸付事業	非常勤（2名）
サービスセンター事業	非常勤（2名）
移送サービス受託事業	非常勤（2名）
居宅介護支援事業	嘱託（3名）
訪問介護事業	嘱託（3名） 非常勤（20名）
障害者自立支援事業	嘱託（兼務3名） 非常勤（兼務20名）
売店事業	非常勤（4名）
計	常勤（10名） 嘱託（8名） 非常勤（32名） 計50名